

最近の成果及び今後の課題

令和4年6月

外交記録公開推進委員会

I 最近の成果

※青字をクリックするとリンク先に飛びます。

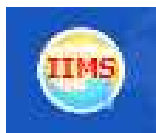
①デジタル化の促進

イームス

(1) IIMS(統合情報管理システム)の導入

行政文書の作成・決裁・管理・移管/廃棄のライフサイクル全体のデジタル化を目指したシステム。意思決定の迅速化、情報の利活用の促進、リモートアクセスによる柔軟な働き方を実現。

デジタルデータを原本とすることで、将来的にはデジタルデータでの外交記録公開を目指す。



(2) 外交史料館利用者の利便性向上

・電子メールによる各種利用受付の開始

⇒利用請求・複写の受付、閲覧室の事前予約、照会等に対応

・[外交記録公開関連ページ](#)(外交史料館ホームページ内)の改善

⇒史料の全体像や所蔵史料検索システムとリンクした内容に改善

デジタル化した外交記録の公開

(イ) [特別審査対象ファイル\(毎年年末に公開\)](#)(外交史料館HP)

・作成・取得から30年を経過した一般の関心が高いファイル

(天安門事件・湾岸危機等)。

(ロ) [アジア歴史資料センター](#)への外交記録の画像データ提供

・占領期～60年代の記録を順次審査・公開。累計約32万画像。



②外交記録の幅広い活用を目指した取組

(1) [外交文書集『日本外交文書』](#)の刊行

『昭和期Ⅳ 日米関係 第1巻(昭和27～29年)』『GATTへの加入』の編纂・刊行

(2) 戦後条約書の原本特別展示(「[沖縄返還協定](#)」「[旧日米安保条約](#)」)

(3) 主権・領土展示館企画展「[サンフランシスコ平和条約と日本の領土](#)」への資料協力

(4) 大学生向け見学・講習「史料利用セミナー」の再開

(5) [雑誌『外交』](#)における外交記録公開関係連載開始

(「連載・外交極秘解除文書」)

(6) 日本国際政治学会研究大会での外交史料館長報告

(「外交史料館における冷戦終結期外交記録公開の状況」)

(7) 公文書監理室へのインターンの受入れ(令和3年度8名)



↑沖縄返還協定(原本)

③体制強化・人材育成

(1) 外交史料館職員5名の国立公文書館[認証アーキビスト](#)認定

(2) 研修実施・参加 オンライン形式での受講により受講者が大幅に増加

・文書管理・情報公開等に関する省内研修の実施 (のべ受講者数約7500名/年)

・IIMS(統合情報管理システム)導入に伴う研修(受講者数約1000名)

・行政機関向け国立公文書館主催研修受講(受講者数約40名/年)

(3) 人員の増員

・文書管理の専門的な知見を有するレコード・マネージャー、利用請求・公開準備担当職員の増員

Ⅱ 課題

今後の課題

●文書のデジタル化・移管及び公開

- (1) IIMS(統合情報管理システム)で作成・管理した
オープンデジタル文書の移管・公開システムの構築
- (2) 電子的公文書管理の更なる推進(例:内閣府の下
で検討が進んでいる次世代の文書管理システムとの
連携)
- (3) 省内の個別業務システムへの文書管理の観点か
らの指導
- (4) 審査を要する史料の利用請求は引き続き高止まり
しており(平成23年度比5倍程度)、請求から利用まで
に時間を要する
- (5) 「30年公開原則」の徹底のための移管促進
- (6) 多忙な各課室における文書管理業務の負担を更
に減らす必要あり

●外交記録の利用促進

- (1) 新型コロナウイルスの感染拡大に備えた史料への
アクセスの確保
- (2) 利用者にとって複雑な利用制度(利用請求・閲覧
の手順等)の理解を促進する取組の強化

必要な対応策

- ① システム部門への文書管理の教育、システム要員
を公文書監理室・外交史料館に配属、文書管理の専
門知識を有する人材の拡充、研修を含む省内サポ
ート体制強化。
- ② 外交記録の遠隔利用を可能とするデジタル化の一
層の推進と、実現のための予算・人的体制強化
- ③ 審査・公開準備作業担当者の増員等の体制を強化
- ④ レコード・マネージャを更に増員して体制強化
- ⑤ ホームページ・所蔵史料検索システムの情報等、利
用者の利便性向上に直結する分野の改善措置の推
進
- ⑥ 教材活用なども見据えた大学その他の教育・研究
機関との連携・協力の推進

Ⅲ 参考資料：行政文書ファイルの外交史料館への移管・公開冊数、外交史料館利用者数等

	平成23年度 ～平成26年度 累計	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
移管冊数 (注1)	21,325冊	3,251冊	2,718冊	1,199冊	2,049冊	2,144冊	1,198冊	1,147冊
閲覧者数 (のべ数, 注2)	10,699人	2,792人	2,465人	2,499人	2,444人	1,966人	465人	654人
閲覧史料 (のべ冊数)	77,043冊	22,288冊	20,144冊	20,029冊	18,354冊	15,123冊	5,184冊	8623冊
利用請求件数 (審査を要する史料)	3,075件	713件	1,080件	1,596件	1,404件	1,795件	1,402件	1675件
戦後アジ歴への画像データ提供 冊数 (コマ数)	—	—	102冊 30,632 画像	500冊 86,431 画像	500冊 109,668 画像	507冊 101,233 画像	498冊 152,670 画像	345冊 101,072 画像

(注1) 年度中に外務省から外交史料館に移管された冊数を示す。

(注2) 外交史料館に直接来館し、同館内で史料を閲覧した人数。郵送により史料の複写を入手した人数は含まない。